

◇ ここから、全員の方がお答えください ◇

● お付き合いについて ●

問 6. 日ごろ、同居の家族以外でよくお付き合いをされているのは、どのような方が多いですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 別居の家族	7. スポーツや運動を通じて知り合った人
2. 親戚	8. 趣味や学習・文化活動を通じて知り合った人
3. 近所の人	9. 家族・親戚を通じて知り合った人
4. 仕事で知り合った人	10. 老人クラブ活動を通じて知り合った人
5. 学校の友人・幼なじみ	11. その他（具体的に)
6. 町内会や自治会で知り合った人	12. 特にいない

問 7. 次のことについて、同居の家族以外で当てはまる人はいますか。例) を参考にし、それぞれの項目について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

	別居の子ども や親戚	近所の 知り合いや 友達	その他、町外 の知り合いや 友達	いない
例) 日ごろよく会う人	①	②	3	4
ア. あなたの心配事や悩み事を聞いてくれる人	1	2	3	4
イ. あなたに気を配ったり、思いやりしてしてくれる人	1	2	3	4
ウ. あなたを元気づけてくれる人	1	2	3	4
エ. あなたをくつろいだ気分にしてくれる人	1	2	3	4
オ. 余暇活動を一緒にすることが多い人	1	2	3	4
カ. ちょっとした用事や留守番を頼める人	1	2	3	4
キ. あなたが病気で 2~3 日間寝込んだ時に、看病や世話をしてくれる人	1	2	3	4
ク. あなたが病気で長期間寝込んだ時に、看病したり、家のことを手伝ってくれる人	1	2	3	4
ケ. もし、まとまったお金が必要になったら、貸してくれる人	1	2	3	4

● 社会活動について ●

問 12. あなたには仕事や家事などの時間以外に、自由になる時間が十分ありますか。ふだんの日と休みの日、それぞれあてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

ふだんの日	1. 十分ある	2. まあある	3. あまりない
休みの日	1. 十分ある	2. まあある	3. あまりない

問 13. 次のような活動をどの程度なさいますか。

(1) 地域づくり・社会づくりのための社会活動をどの程度なさいますか。それぞれあてはまる番号を一つ選んで○をつけてください。

	よくする	時々する	ほとんどしない
ア. 地域行事(お祭り・盆踊りなど)への参加	1	2	3
イ. 町内会や自治会活動	1	2	3
ウ. 老人会(老人クラブ)活動	1	2	3
エ. 趣味の会など仲間うちの活動	1	2	3
オ. 社会福祉・奉仕(ボランティア)活動	1	2	3
カ. 特技や経験を他人に伝える活動	1	2	3
キ. 消費者団体・自然環境保護などの活動	1	2	3

(2) 次の個人的な活動をどの程度なさいますか。それぞれあてはまる番号を一つ選んで○をつけてください。

	よくする	時々する	ほとんどしない
ア. 近所づきあい	1	2	3
イ. 生活用品や食料品の買い物(近所での買い物)	1	2	3
ウ. デパートでの買い物	1	2	3
エ. 近くの友人・親戚を訪問	1	2	3
オ. 遠方の友人・親戚を訪問	1	2	3
カ. 国内旅行	1	2	3
キ. 外国旅行	1	2	3
ク. お寺まいり(神社仏閣へのおまいり)	1	2	3
ケ. スポーツや運動	1	2	3
コ. レクリエーション活動	1	2	3

(3) 次のような学習活動をどの程度なさいますか。それぞれあてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

	よくする	時々する	ほとんどしない
ア. 老人学級・老人大学への参加	1	2	3
イ. カルチャーセンターでの学習活動	1	2	3
ウ. 町民講座・各種研修会・講演会への参加	1	2	3
エ. シルバー人材(能力開発)センターでの活動	1	2	3

問14. あなたは次にあげることについて、どの程度満足していますか。それぞれあてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

～について	満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	いない又はしていない
ア. 家族(同居・別居家族を含めて)や親戚との関係	1	2	3	4	5
イ. 近所付き合い	1	2	3	4	5
ウ. 友達付き合い	1	2	3	4	5
エ. 仕事	1	2	3	4	5
オ. 暮らし向き(経済的)	1	2	3	4	
カ. お住まいの地域環境	1	2	3	4	
キ. 全体として、今の生活	1	2	3	4	

問15. あなたは、次の意見をどう思われますか。それぞれあてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそうは思わない	そうは思わない
ア. 町内会の世話をしてくれと頼まれたら、引き受けてもよいと思う	1	2	3	4	5
イ. 地域の生活環境をよくするための公共施設の建設計画がある場合、自分の所有地や建物の供出にはできるだけ協力したい	1	2	3	4	5
ウ. 自分の近所に一人暮らしの老人がいたらその老人のために日常生活の世話をしあげたい	1	2	3	4	5
エ. 地域の人々と何かをすることで、自分の生活の豊かさを求めたい	1	2	3	4	5
オ. いま住んでいる地域に、誇りとか愛着のようなものを感じている	1	2	3	4	5

● 日ごろの様子について ●

問16. あなた自身のことについて、それぞれ「1. はい」「2. いいえ」でお答えください。

	はい	いいえ
ア. 一人になっても孤独を楽しめるほうですか	1	2
イ. 大勢で楽しめるような趣味や活動をしたいですか	1	2
ウ. 人間関係の煩わしさを離れて、静かに暮らしたいですか	1	2
エ. 人と一緒に何かをしたいですか	1	2
オ. ご自分が他の人に必要とされていると感じることができる場合がありますか	1	2
カ. あなたには、ほっとしたり、安らげる場合がありますか	1	2

問17. あなたは、地域の中で孤立していると感じることがありますか。次のうち、もっともあてはまる番号を1つだけ選んで○をつけてください。

1. ほとんどない	3. そう感じているときが多い
2. 時々ある	4. わからない

問18. 過去30日の間に、次のことがどれくらいの頻度でありましたか。それぞれあてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

	全くない	少しだけ	ときどき	たいてい
ア. 神経過敏に感じましたか	1	2	3	4
イ. 絶望的だと感じましたか	1	2	3	4
ウ. そわそわ、落ち着かなく感じましたか	1	2	3	4
エ. 気分が沈み込んで、何が起こっても気が晴れないように感じましたか	1	2	3	4
オ. 何をするのも骨折りだと感じましたか	1	2	3	4
カ. 自分は価値のない人間だと感じましたか	1	2	3	4

問22. ご家庭の収入源は、主になんですか。(いくつでも○)

- | | |
|-----------------------|-------------|
| 1. 本人または配偶者の就業による収入 | 5. 預貯金 |
| 2. 公的年金(国民年金・厚生年金など) | 6. 子どもからの援助 |
| 3. 私的年金(年金貯蓄・年金保険など) | 7. 生活保護 |
| 4. 財産からの収入(利子、配当収入など) | 8. その他() |

問23. あなたの世帯の、今の暮らし向きはいかがですか。(1つだけ○)

- | |
|-------------------|
| 1. ゆとりがある |
| 2. どちらかというとゆとりがある |
| 3. ふつう |
| 4. どちらかというときつい |
| 5. 苦しい |

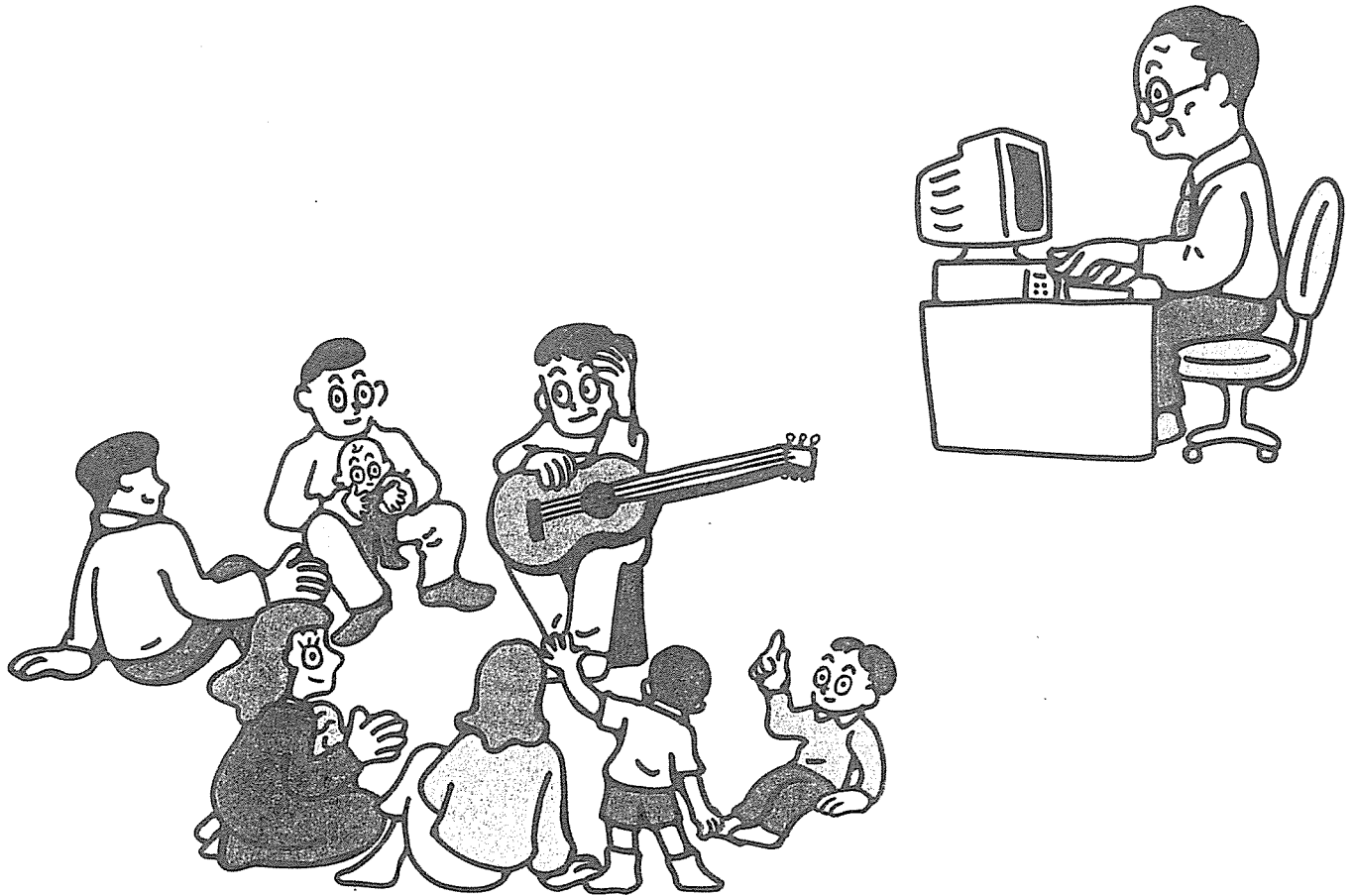
問24. これまでに、最も長く従事していた仕事の職種はどれですか。あてはまる番号を一つだけ選んで○をつけてください。(1つだけ○)

- | |
|---|
| 1. 農林漁業自営(家族従業員を含む) |
| 2. 管理職(課長以上) |
| 3. 販売的職業(店主、店員、外交員など) |
| 4. サービス的・保安的職業(理容・美容師、接客、掃除、警察官、消防官など) |
| 5. 専門的・技術的職業(研究者、医師、薬剤師、技術者、弁護士、教師、看護職など) |
| 6. 事務的職業(事務員、集金人、電算機操作員、タイピストなど) |
| 7. 運輸・通信的職業(電車や車の運転手、郵便配達員、電話交換手など) |
| 8. 技能労働者(熟練労働者) |
| 9. 一般作業員(非熟練労働者) |
| 10. その他() |
| 11. 無職(家事のみも含む) |



鳩山町
中高年者の
「社会活動」
について

「第二回アンケート結果概要」



平成19年3月



Q. なぜこの調査を実施したのですか？

地域社会との関わりを持ちながらいきいきと過ごすことは、ご本人の生活のほりになるだけでなく、健康維持の面でもよい効果があります。また、これからの少子高齢社会においては、住民の多様で活発な社会参加によって、地域社会の活性化、地域福祉の向上や世代間交流の促進が期待されています。

鳩山町では、中高年者の社会参加を促進し、みんながいきいきと暮らせるまちづくりを進めることを重要な課題の一つとしています。そこで、皆様の社会活動の現状を調べ支援策を検討するために、本調査を定期的
に実施しています。

Q. 第二回調査の目的は何ですか？

第一回調査（2002年）では、ニュータウン地区の中高年者の「社会活動性」が低いことや、将来定年退職を向かえる方々の地域参加が大きな課題である、ということがわかりました。

第二回調査（2004年）では、その後2年間の社会活動性の変化を調べるとともに、特に退職前後の方々に、地域参加についての意見を詳しくお尋ねすることを目的としました。

Q. 社会活動とはいったい何ですか

「社会と接触する活動、家庭外での対人活動」をさします。ふだんの生活の中で、社会活動が活発かどうかをみるために、調査では「社会活動性指標」を用いています。

Q. だれが対象となったのですか？

2004年1月1日現在、年齢が55歳から81歳であった住民の中から3人に1人の割合でランダムに選んだ1,818人です。

Q. どのような方法で実施したのですか？

郵送によりアンケートを配布して、自己記入後、返送していただきました。

有効な回答があったのは1,191人（有効回答率65.5%）でした。

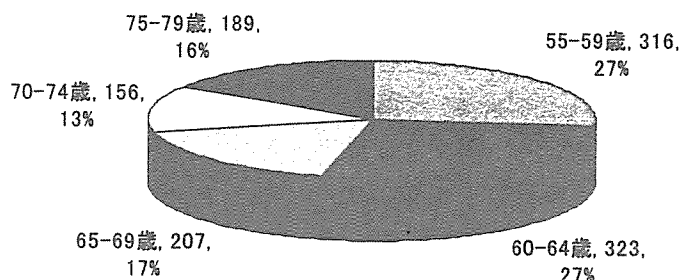
1. 回答者の年齢別、地域別内訳

男性583人、女性599人でした。
(回答数1,182人)

年齢別では、図のように55歳から64歳の年齢層が過半数を占めました。

地域別では、亀井・今宿地区 408人 (35.2%)
ニュータウン地区 751人 (64.8%)
でした。(回答数1,159人)

図5 アンケート回答者の年齢分布



2. 社会活動性指標

社会活動が活発かどうかをみるために用いた「社会活動性指標」は、「仕事」、「個人活動」、「社会・奉仕活動」、「学習活動」の4つの側面から構成されています。

以下、亀井・今宿地区とニュータウン地区にわけて、第一回調査と第二回調査の結果を比較しながら、4つの活動性の変化をみてみましょう。

3. 社会活動性の変化

1) 仕事

ここでいう仕事は、収入のあるものに限定しています。

図2 第一回目 (2002年)

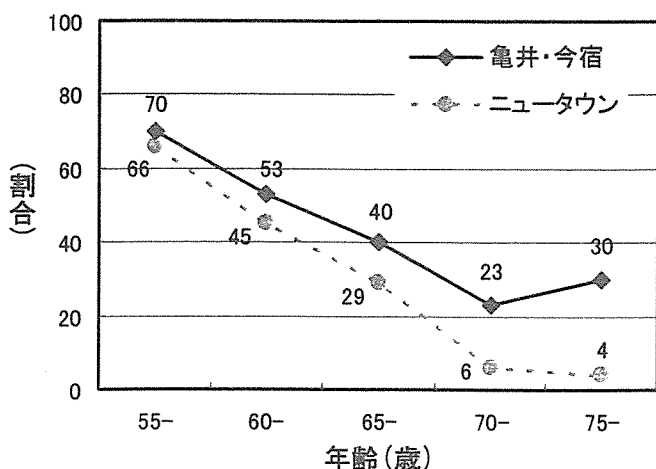
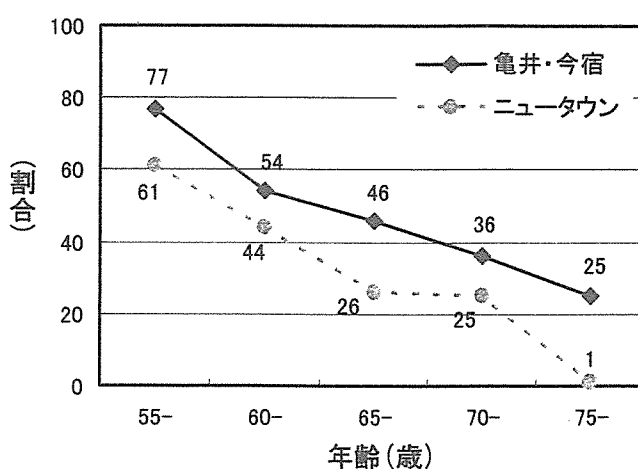


図3 第二回目 (2004年)



就業率には大きな変化はありませんでしたが、70代前半ではやや上昇していました。

2) 個人活動

右の10項目のそれぞれについて、「よくする・時々する」なら1点、「ほとんどしない」なら0点として、合計得点を出しました。

得点が高いほど個人活動が活発です。

- ・近所づきあい
- ・生活用品や食料品の買い物（近所での買い物）
- ・デパートでの買い物
- ・近くの友人・親戚を訪問
- ・遠方の友人・親戚を訪問
- ・国内旅行
- ・外国旅行
- ・お寺まいり（神社仏閣へのおまいり）
- ・スポーツや運動
- ・レクリエーション活動

図4 第一回調査（2002年）

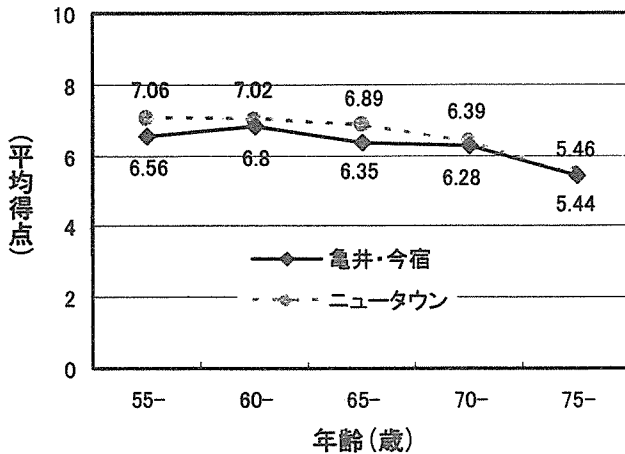
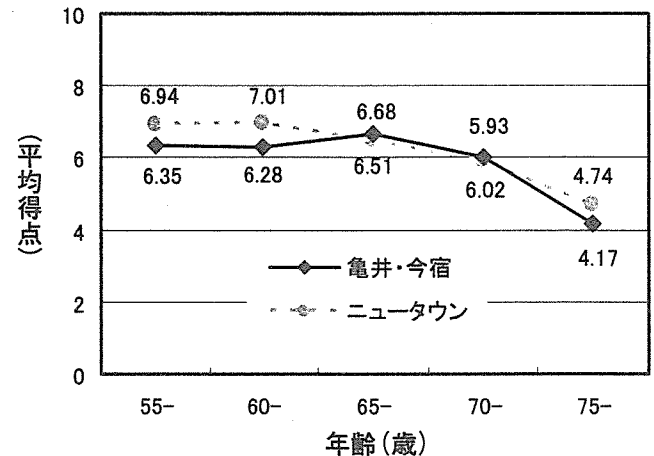


図5 第二回調査（2004年）



「個人活動」においては、亀井・今宿およびニュータウン地区とも2002年から2004年にかけては、ほぼ全年齢層で低下する傾向がみられています。特に75歳以降の低下が目立ちました。

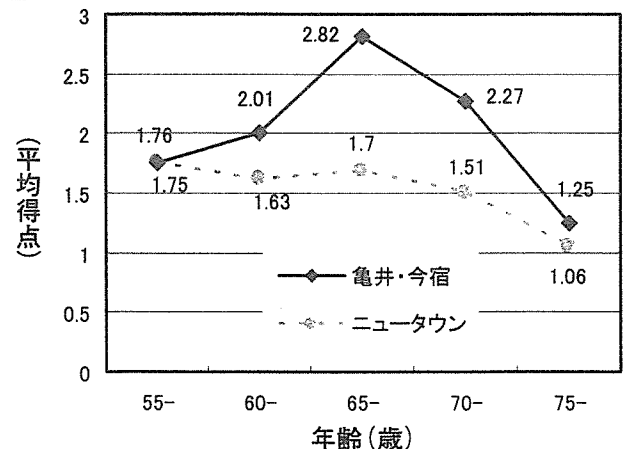
3) 社会・奉仕活動

右の7項目のそれぞれについて、「よくする・時々する」なら1点、「ほとんどしない」なら0点として、合計得点を出しました。

得点が高いほど、社会・奉仕活動が活発です。

- ・地域行事（お祭り・盆踊りなど）への参加
- ・町内会や自治会活動
- ・老人会（老人クラブ）活動
- ・趣味の会など仲間うちの活動
- ・社会福祉・奉仕（ボランティア）活動
- ・特技や経験を他人に伝える活動
- ・消費者団体・自然環境保護などの活動

図6 第二回調査（2004年）



第一回と第二回調査では、項目が若干異なるため、直接の比較はできません。

ここでは、第二回調査の結果のみ示します。

ニュータウン地区での活動性が低いことがわかります。既存の組織への参加が少ないことが大きく影響しているようです。

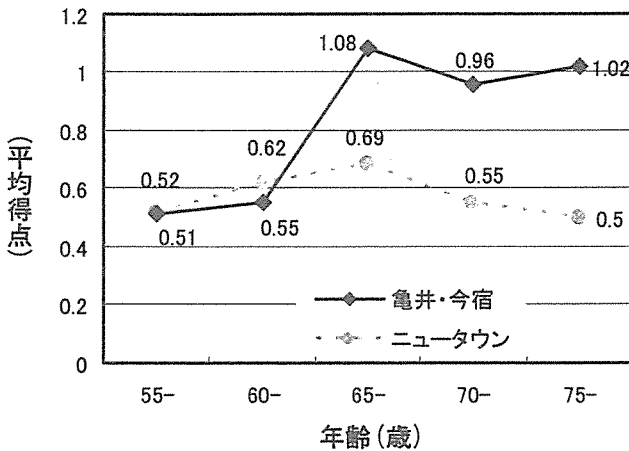
4) 「学習活動」

右の4項目のそれぞれについて、「よくなる・時々する」なら1点、「ほとんどしない」なら0点として、合計得点を出しました。
得点が高いほど、学習活動が活発です。

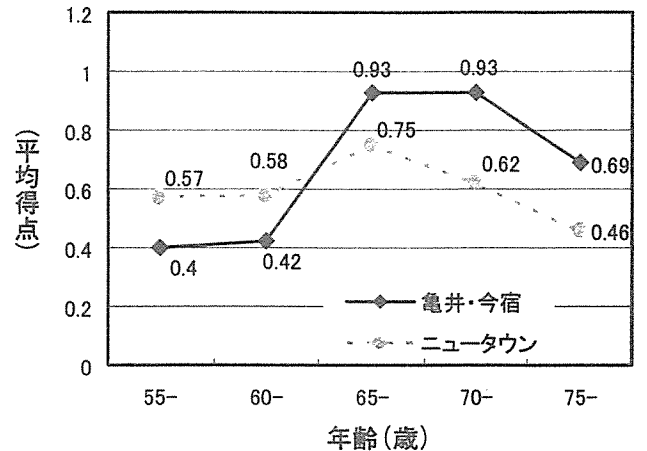
- ・老人学級・老人大学への参加
- ・カルチャーセンターでの学習活動
- ・町民講座・各種研修会・講演会への参加
- ・シルバー人材（能力開発）センターでの活動



第一回調査（2002年）



第二回調査（2004年）



「学習活動」においては2002年から2004年にかけて、亀井・今宿地区ではやや低下しましたが、ニュータウン地区では逆に上昇しました。

4. 社会活動が活発となった人の特徴

第一回調査、第二回調査とも回答のあった784人に限定して、この2年間で社会活動性が上昇した背景を調べました。

<背景：もともとの特徴>

「個人活動」が上昇した人・・・「健康度自己評価」がよい

「社会・奉仕活動」が上昇した人・・・「地域共生意識」が高い、活動の継続意思がある

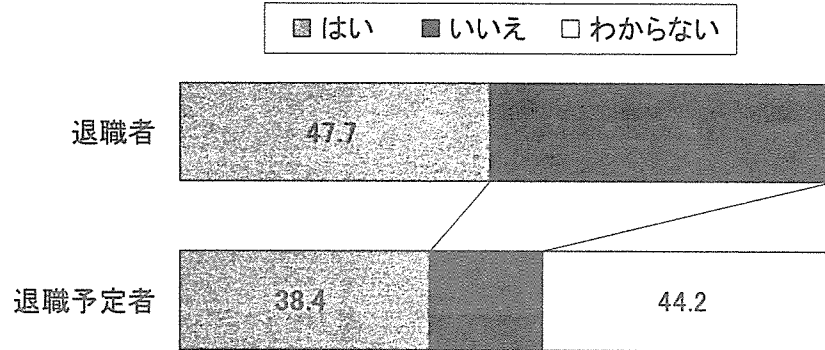
「学習活動」が上昇した人・・・「地域共生意識」が高い

注)「地域共生意識」とは、同じ地域に住む人々と共に生きていこうとする意識です。

健康に自信があった人や地域共生意識が高かった人では、活動性が上昇しました。

5. 退職と地域活動への関心

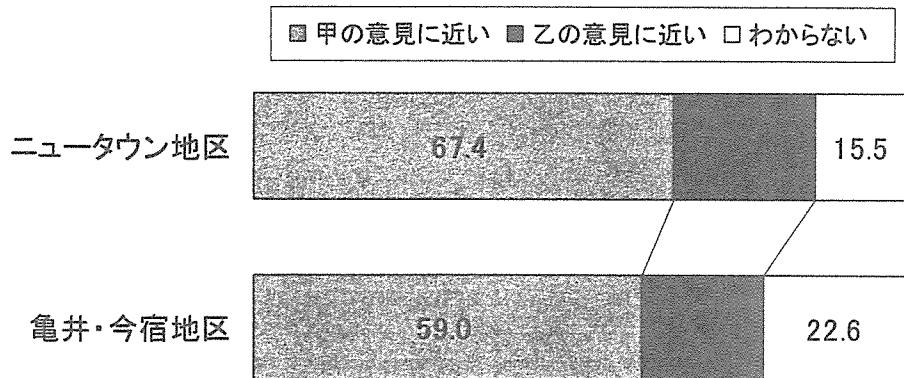
過去2年間で退職された人（約200人）と1年以内に退職予定の人（約100人）にたずねました。
 Q. 仕事をやめてから（やめた後は）、地域組織や地域活動への関心は増えましたか（増えそうですか）



6. 地域参加について

Q. (全員の方に) あなたは、自宅と職場が離れていた退職者など、地域社会とのかかわりが薄い中高年者に対して、地域活動に目を向けさせるために何らかの手立てが必要だと思いますか

- 甲：退職すると生活の場となるのだから、積極的に地域活動に目を向けさせる手立てが必要
- 乙：職場等のこれまでの交流関係を大切にすればよいのであって、地域活動にこだわる必要はない



7. 望まれる行政施策

過去2年間で退職をされた人（約200人）と1年以内に退職予定の人（約100人）に、あったらよい施策をたずねました。
 (はいと答えた人の割合)

施策	退職者	退職予定者
教養・文化・趣味に関連した地域組織・地域活動の紹介	51.2%	48.8%
健康づくりや福祉に関連した地域組織・地域活動の紹介	45.3%	47.1%
利用できる行政サービス（健診などの保健サービス等）の説明	44.3%	47.1%
男性向け料理教室の開催など、退職後の生活に向けた支援	29.9%	17.4%

8. まとめ

- ① 2年間の社会活動性の変化をみると、町全体として「個人活動」は低下しましたが、ニュータウン地区での「学習活動」は上昇しました。
- ② 「地域共生意識」が高い人ほど、その後、社会活動性が高まりやすい。
- ③ 退職前後は、地域組織や地域活動への関心が増す時期です。
- ④ 多くの人が、「地域活動にかかわりが薄い中高年者が、地域活動に目を向けることが必要だと感じ、それに向けた何らかの手立てが必要である」としています。

9. 今後の課題

- ① 退職者の地域へのソフトランディング
「職業生活」から「地域生活」へのソフトランディングを支援する施策を検討し、実施する必要があります。
- ② 地域共生意識
住民の地域参加を促進する上で、住民同士のネットワークを広げ、地域共生意識を育てることが大切です。
- ③ 多様な社会参加
それと同時に、行政と住民が協働して、多様な社会活動の場・機会をつくっていくことが求められています。



ご協力をお願い

第三回目となります『中高年者の「社会活動」についてのアンケート』にご協力ください。
鳩山町では、皆様のご意見を大切にしながら、今後とも様々な事業を推進していく所存です。
どうかご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

発行／鳩山町健康福祉課（保健センター）

〒350-0324 埼玉県比企郡鳩山町大字大豆戸183-1 電話049-296-2530

鳩山町公式ホームページ <http://www.town.hatohaya.saitama.jp/>

編集／(財) 東京都高齢者研究・福祉振興財団 東京都老人総合研究所 社会参加とヘルスプロ

モーション研究チーム 〒173-0015 東京都板橋区栄町35-2 電話03-3964-3241（代表）